

**原発が全て止まっても
深刻な停電は
起きていない！！**

**大手電力が
苦しくなるからと
原発を稼働するのは
本末転倒！！**

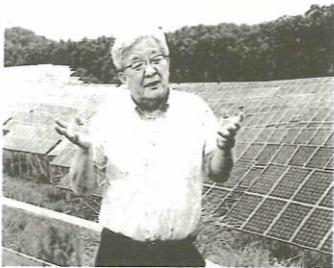
『原発が安全なんて全部ウソだったじゃないか』との思いから、会津電力社長の佐藤弥右衛門氏は『再生エネルギーで地域復興』を訴えています。

2015年6月には、第299回政経フォーラムにて『会津からの挑戦～再生可能エネルギーによる地域の自立・日本の未来～』について講演していただきました。

被災地では、未だに放射線量を気にしながら生活を送っていますが、その一方で次々と原発の再稼働が進められています。

東日本大震災を経験した私たちだからこそ、原発に頼らない社会を目指すために、広く訴えていきましょう。

再生エネで地域復興を



会津電力 佐藤弥右衛門社長

原発のない国
福島からの

大規模太陽光発電「羅国発電所」の前で話す佐藤社長＝福島県喜多方市で

さとう ちやうえもん 江戸時代から続く大和川(もまごがわ) 酒造店の第9代当主。2013年夏に市民有志と会津電力を設立した。会津電力は太陽光を中心

政府が原発の再稼働を急ぐ中、市民自らが再生可能エネルギーで発電する取組が広がっている。東京電力福島第一原発事故の被害を受けた福島県で、酒造の当主が主導し設立した会津電力(喜多方市)はその代表例だ。政府のエネルギー政策を「大手電力会社の保護に傾きすぎ」と批判する佐藤弥右衛門社長(左)にも考えを聞いた。

(池尾伸一)

「原発にも発電割合を現状の2%から2010年には2012%に上げる」という政府のエネルギー基本計画をどう思いますか。

「原発事故の直後、放射能汚染で飯館村は水すら安心して飲めなくなり、た。飯館の車を酒を造らせてもついていた線から



被災者のために飲み水を升瓶に詰めトラックで運りながら「ハンドルの握りながら」だった安全な環境が「原発が安全な環境」だと怒りに燃えま

「再生エネルギーによる発電割合の目標は2010年に22.4%と他国に比べ低い

「再生エネルギーによる発電割合の目標は2010年に22.4%と他国に比べ低い

「再生エネルギーによる発電割合の目標は2010年に22.4%と他国に比べ低い

「再生エネルギーによる発電割合の目標は2010年に22.4%と他国に比べ低い

「再生エネルギーによる発電割合の目標は2010年に22.4%と他国に比べ低い

7月21日 東京新聞

**東日本大震災を忘れず
原発に頼らない社会を目指そう！！**